



すみだとパラスポーツの今

障がい者スポーツ大会
の中の世界最高峰の大会
は「パラリンピック」で
す。オリンピックと同様
に夏季大会と冬季大会が
あり、4年に1度オリ
ンピック終了後と同じ場所
で開催されます。競技数
も年々増えており、20
16年リオパラリンピ
ックは22競技・528
種目、今夏開催予定の東
京パラリンピックも22
競技で開催されます。



北菌新光選手

障がい者スポーツ大会
の程度は人それ
ぞれ異なるため「クラス
分け」という制度があり、
個々の障がい競技に及
ぼす影響をできるだけ小
さくし、平等に競い合
います。
障がい者スポーツ大会
の中の世界最高峰の大会
は「パラリンピック」で
す。オリンピックと同様
に夏季大会と冬季大会が
あり、4年に1度オリ
ンピック終了後と同じ場所
で開催されます。競技数
も年々増えており、20
16年リオパラリンピ
ックは22競技・528
種目、今夏開催予定の東
京パラリンピックも22
競技で開催されます。

北菌新光選手は81kg級です。
古畑篤郎選手の競技は車いす陸
上競技で、クラスはT34です。競
技種類は「T」と「F」の2種類
があり、「T」/「Track」は、走競技
(100m〜マラソン)、跳躍競
技(走り幅跳び、走り高跳びなど)、

「F」/「Field」は、投てき競技(砲
丸投げ、やり投げなど)です。
障がいの種類は10〜60番台で表
現され、30番台は、痙性麻痺、協
調運動障がいなどの特徴を示す脳
原性の麻痺のある立位競技者及び
車椅子や投てき台を使用する競
技者を示します。障がいの程度は0
〜9の番号が割り当てられ、基本
的に番号が小さいほど障がいの程
度は重くなります。



古畑篤郎選手

墨田区には学校の教育活動に地
域の教育力を導入する「学校支援ネ
ットワーク事業」があり、学校と学
校支援ボランティア(住民・企業・
学生等)をつなぐ役割をしています。
弊社もその制度を活用し、墨田区内
の小中学校で「夢をあきらめない
!!」パラアスリートから学ぶ、パ
ラスポーツと夢をかなえる方法!
というテーマで出前授業を行って
います。パラアスリートが障がいや
挫折を乗り越え夢を実現してきた
ストーリーを通じて、あきらめずに
努力する大切さを伝えたり、障がい
者のサポートの仕方を学んでもら
っています。また、パラスポーツに
ついて現役選手から学び、パラスポ
ーツの魅力を知り、実際に体験する
ことで、東京2020パラリンピ
ックへの関心を高めています。

「いよいよ墨田区内を
聖火リレーが通ります!
東京2020パラリンピック
聖火リレーのコンセプトは、
「Share Your Light/あなたは、き
つと、誰かの光だ。」です。これは、
聖火リレーを通じて、社会の中で誰
かの希望や支えとなっている多様
な光(人)が集まり、出会うことで、
共生社会を照らす光としよう、とい
う想いを表現しています。
この聖火リレーは、8月21日(土)
に墨田区内を通ります。4年に1
度のパラリンピックを、みんなで楽
しましましょう!
(アルケア株式会社 経営企画部
小竹 尚美)

■パラスポーツって

どんなスポーツ?

パラスポーツとは「障がい者スポ
ーツ」を表す言葉で、視覚障がい者
柔道、車いす陸上競技、パラトライ
アスロン、ボッチャなどたくさん
の競技があります。腕や脚などの身体
または視覚や知的発達など、障がい
のある部位や種類はさまざまです。
同じ障がいでも、その程度は人それ
ぞれ異なるため「クラス
分け」という制度があり、
個々の障がい競技に及
ぼす影響をできるだけ小
さくし、平等に競い合
います。

■アルケア所属のパラアスリート

墨田区内に本社を構え、医療機器
医療用消耗材料の開発・製造・販売
を行うアルケア株式会社には、北菌
新光選手と古畑篤郎選手の2人の
パラアスリートが所属しています。
北菌新光選手の競技は視覚障が
い者柔道です。視覚障がい者柔道が
晴眼者柔道と大きく違うのは、お
互い組んでから始まることで、組み
手争いがないため晴眼者柔道より
ダイナミックです。3種類のクラ
スに区分されますが、試合は障がい
の程度でなく体重別で行われ、北菌
新光選手は81kg級です。

すみだの伝統工芸

—市松人形—



左：「玉響」 右：「葛の葉狐」 (共に50cm)

「貴方の住む街はどんな町？」という質問に、「下町情緒が残る物作りの街 墨田区です。」とお話します。仕事柄、海外を含め作品展やイベントを通じて全国各地へ出向く私ですが、そうお答えできる事をいつも誇りに思います。

墨田区伝統工芸保存会は、「物作りは文化である」と考える異業種工芸職人が集まり、伝統工芸技術の「保存」「発展」「認識向上」を目的に、昭和53年（1978）、23区内でいち早く結成されました。現在、20業種27名の工芸職人で構成され、43年間様々な文化活動を続けています。子供達への職人仕事話や製作実演、ワークショップ、姉妹都市との交流事業、保存会主催の作品展や感謝市などの数々です。

では何故、都内でも珍しい様々な職人仕事話が、墨田区には現在も多く育まれ、引き継がれているのでしょうか。

江戸時代、埋め立てが進み、当時新興の地であった墨田区に限っては、両国の相撲や落語、見

世物小屋がありました。さらに、大川（隅田川）を挟んで台東区側には浅草寺・歌舞伎芝居小屋（猿若三座）・吉原遊郭などがあり、今でいえば一大繁華街で、庶民文化と芸術の発信地に囲まれている事と大きなかわりがあります。

元すみだ北斎美術館学芸員 五味和之氏は、次のように述べています。

「明暦の大火以後、本所の地が開発されて多くの武家屋敷が次々と建設されていきました。隅田川や用水路沿いには町人地も形成されますが、とりわけ沢山の職人達が移り住みました。浅草寺を中心とした神社仏閣には欠かせない、木工・金工・石工職人武家屋敷出入りの植木職人をはじめ、細工職人・玩具職人、隅田川の水を利用した染物職人など多種多様な技術を持ってやってきました。」

つまり、折りの場や芸能・相撲・花街の賑わいと言った大繁華街特有の様々な需要と供給のバランスの取れた立地に、すみだの職人仕事が出来てきたのです。



私の仕事も代々「市松人形作り」を専門職として引き継いできました。

市松人形は、「七五三」頃の年齢を模して作られる子供人形で、江戸時代に考案されました。とりわけ現代の「リカちゃん人形」や「バービー人形」と言ったところで、ただ飾るだけではなく女性も子供も着せ替え衣裳を縫ったり着せ替え遊びを楽しんだりしています。

伝統材料と様々な道具を用い、約74工程を経て完成する市松人形は、技術の会得に修業が必要で、様々な道具の一つひとつを意のままに使いこなせて初めて良い人形が作れます。理屈ではなく繰り返し返しの作業の中から体得するには、数多くの経験と時間が必要です。昔のように弟子入りし、一人前の人形師になるまでには相当な修業時間が必要不可欠です。その為、後継者問題が囁かれますが、現在、全国

にいる8軒15名の市松人形作り職人の内、私の弟子共々3人が墨田区で生産しています。

近年「墨田区」は、東京スカイツリーの開業にともない、一大観光地の仲間入りをしました。世界中から多くの観光客が増え、そしてマンションも立ち並び、移り住む「新すみだ人」も増えています。

墨田区伝統工芸保存会会員は、機械化された量産品とは一味違い、手仕事から産まれる職人の個性の豊かさ・楽しさ、洗練された機能美を「今の暮らしに相応しい形」にして、国内外にお届けできるよう努力を続けています。

江戸時代からの市松人形も、「現代の創造のスパイスを加え」次世代へ引き継ぎ、残していきたいと考えています。「伝統にその時代のスパイス」を加えながら、これからも選び続けられる物作りを怠りません。そして未来の子供達にも、「物作りの街すみだ」を誇りに思える街で有り続ける事を希望しています。

（墨田区伝統工芸保存会

市松人形師 藤村 光環）